



神奈川県内科医学会 第14回「知の羅針盤」講演会

日 時 : 令和8年1月19日(月) 19:20 ~ 20:30

場 所 : 横浜市健康福祉総合センター 6階会議室
(ハイブリッド開催)

いままで言えなかった本音の講演会

～ 偽りのない日常診療の話 ～



The Compass for Wisdom
～ 知 の 羅 針 盤 ～

Opening Remarks 横浜内科学会 ○○○○

座長 神奈川県内科医学会 荻原 太

未来を切り拓く『トリニティ組織』の力：
データが解き明かす、医療の未来

日立製作所フェロー
株式会社ハピネスプラネット代表取締役 CEO
矢野 和男 氏

Closing Remarks 神奈川県内科医学会 ○○ ○

共催：横浜内科学会(仮)

日本医師会生涯教育1単位が取得可能です (CC0：最新のトピックス・その他) (仮)

日 時 : 令和8年1月19日(月) 19:20 ~ 20:30

場 所 : 横浜市健康福祉総合センター 6階会議室
(ハイブリッド開催)

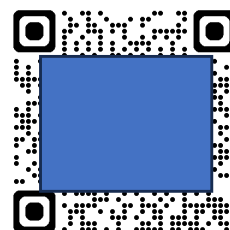
対 象 : 医師、コメディカル

お申込み方法

WEBでの御参加の場合は、下記のURLまたはQRコードよりお申込みください

URL : [h\[redacted\]UD](#)

当日の緊急連絡先 08[redacted] (荏原)



「未来を切り拓く『トリニティ組織』の力（仮）」

- AI時代にこそ求められる「トリニティ」の力:
- 『トリニティ組織』で再構築するクリニック運営
- 異能 独自開発したAIエージェントFIRAについて

内科開業医は今、未曾有の危機に直面しています。診療報酬の継続的な引き下げ、感染症リスクの増大、人件費の高騰に加え、患者や社会からの「儲けすぎ」「税金の無駄遣い」といった厳しい視線にさらされています。さらに、オンライン診療やAI技術の進化が「開業医不要論」を生み出し、多くの医師が将来への不安を抱えています。このような状況を打破するためには、従来の「診療」の枠を超えた新しい価値観が必要です。矢野和男氏が提唱する「トリニティ組織」は、単なる組織論ではありません。人が幸福になり、生産性が高まる「三位一体」の関係性をデータに基づいて解き明かすものです。この考え方は、医療現場の課題、特に医師と患者、スタッフ間の関係性を再構築し、未来の医療のあり方を示す重要な鍵となります。本企画は、矢野氏の先進的な知見を、開業医の先生方が直面する課題解決に結びつけることを目的とします。データが示す「幸福」と「生産性」の法則を学び、AI時代における医師の役割を再定義することで、先生方の仕事の価値を再認識し、未来への希望を見出す場を提供します。

矢野和男氏の紹介

1959年、山形県生まれ。1984年、早稲田大学大学院理工学研究科物理学専攻修士課程を修了し日立製作所に入社。同社の中央研究所にて半導体研究に携わり、1993年、単一電子メモリの室温動作に世界で初めて成功する。同年、博士号（工学）を取得。2004年から、世界に先駆けてウェアラブル技術とビッグデータ収集・活用の研究に着手。2014年、自著『データの見えざる手 ウェアラブルセンサが明かす人間・組織・社会』が、BookVinegar社の2014年ビジネス書ベスト10に選ばれる。論文被引用件数は2,500件にのぼり、特許出願は350件超。東京工業大学 情報理工学院 特定教授。